

令和4年度 第3回 稲沢市社会教育委員会・公民館運営審議会会議報告書

| | | | |
|-------|--|-----------------------------|-------------------|
| 会議の名称 | 令和4年度 第3回 稲沢市社会教育委員会・公民館運営審議会 | | |
| 主催 | 生涯学習課 | 場所 | 勤労福祉会館 3階 第2・3会議室 |
| 日時 | 令和 4年 11月 15日 (火) | 午前 9時 30分から 午前 11時 35分まで | |
| 出席者 | 【委員】山内晴雄、吉川光彦、大野芳樹、大室有美、服部みどり、栗林芳彦、伊藤善男、加島和典、牛嶋みゆき、風間哲郎、松原正明 ※欠席…定行加保里、渡辺香織、惣慶実花 | | |
| 氏名 | 【事務局】教育長、部長、生涯学習課長、スポーツ課長、図書館長、美術館長、各課主幹・主査、社会教育指導員 | | |

【会議概要】

◎ あいさつ

(教育長)

- ・御多用の中、御出席いただきまして誠にありがとうございます。例年、この時期にお願いすることはなかったのですが、委員の皆様からもう少し早い時期の方が適切ではないかという声と、また、来年度のことについていろいろと御意見を伺いたいということで今回開催をさせていただきました。
- ・来年度予算につきましては、年度末にならないと確定いたしません。また、予算を伴う行事や企画は現時点では決定できる段階にありません。今日この場合は、大きな方向性について御意見をいただき、今後の施策に活かしていきたいと思っております。

(委員長)

- ・会の開催時期については、そろそろ考慮する時期であると考えておりました。
- ・稲沢市の公民館の在り方については問題があると思っており、教育委員会本体が様々な事業を抱えて大変に見える、私たち社会教育委員は自らが調査研究する義務がありますから今後、一緒に検討していければと思います。
- ・世の中は物凄い勢いで変化しており、今後、市民の学びには何が必要なのか、その方向性について少しでも話し合いができればと考えます。

◎議題

1 令和4年度主要事業中間報告について

資料1について生涯学習課、スポーツ課、図書館、美術館の順で説明

※質疑応答

(副委員長)

- ・祖父江の寿教室に参加しているが、各講座の講師については誰が決めていますか。

(生涯学習課生涯学習グループ主幹)

- ・生涯学習課の職員が過去の講座の内容等を見ながら講師をお願いしております。寿教室については、社会教育指導員にもお願いしております。

(A委員)

- ・社会教育指導員とはどういう立場の方ですか。

(生涯学習課生涯学習グループ主幹)

- ・生涯学習課に勤務している教員OBの方です。

(委員長)

- ・高齢者の立場が変わってきており、寿教室の内容も見直していく必要があると思います。また、文化財についてはどのような事業を行っていますか。

(生涯学習課文化財グループ主幹)

- ・古文書講座、歴史講座、文化財公開デー、文化財展等を行っています。

(生涯学習課長)

- ・文化財について稲沢市には多くあることをアピールしていますが市民には浸透していないのは事実だと思います。今回、中高記念館を活用してアピールに努めましたが地道にやっていくものだと思っております。

(B委員)

- ・稲沢市の財産が世代交代によって処分されてしまうのではないかと懸念しております。

(C委員)

- ・図書館探検ツアーの内容について教えてください。

(図書館長)

- ・ゴールデンウィークの時期に子供たちに図書館の裏側を見てもらおう内容となっております。

(C委員)

- ・教員の初任者研修にも活用させていただき大変好評でした。

(B委員)

- ・美術館のツイッターをフォローしており発信力が凄く大事だと感じていますが、工夫していることはありますか。

(美術館長)

- ・写真の掲載と展示のちょっとした紹介をしております。ただ荻須作品の写真は掲載できないのが難しいところです。

(B委員)

- ・まず身内からフォローして拡散することが大事だと思います。

(D委員)

- ・着衣水泳指導について、どのくらいの子供たちが体験できるのでしょうか。

(スポーツ課主幹)

- ・各小学校1クラス、体育の授業を利用して行いました。各学校から多くの希望があり半分しか受けることができませんでした。民間事業者のボランティア活動から講師を派遣していただいております。今後は予算化を検討する必要もあると考えております。

(委員長)

- ・「公民館事業」としているのは検討した方がよいのではないのでしょうか。

2 令和5年度主要事業に係る取り組みについて

資料2・3について生涯学習課、スポーツ課、図書館、美術館の順で説明

※質疑応答

(E委員)

- ・美術館来館者の若年層割合が低いことについて、解決のための方策をどう考えていますか、また、電子図書館導入の予算について、前年度より低くなっている理由は何でしょうか、あと、中高記念館の照明設備等の予算要求はしているのでしょうか。

(美術館長)

- ・名古屋文理大学のゼミの方に御協力いただきInstagramを始めました。また、若い方に関心を持っていただくよう磯野宏夫氏の展覧会を企画いたしました。

(図書館長)

- ・4年度は開設年ということで初期導入費用がありましたが、5年度は書籍購入費及びランニングコストのみになり低くなっております。

(生涯学習課文化財グループ主幹)

- ・今までは展示施設として活用しておりませんでした。議会において活用促進の意見をいただきましたので、今後、検討していきたいと考えております。

(E委員)

- ・数値目標を入れておくことが大事だと思います。もう1つトップアスリート巡回指導について、全ての中学校で行われているのでしょうか。

(スポーツ課長)

- ・部活動への指導ということで、希望がある場合にアスリートのシーズンオフの時期に派遣しております。また、複数回派遣について協議を進めております。

(C委員)

- ・地域学校協働活動事業の予算はどのような内容ですか。

(生涯学習課生涯学習グループ主幹)

- ・委員への謝礼を計上しております。

(F委員)

- ・休日部活動の地域への移行について令和5年度から実施されますが、どのように考えてみえますか。

(教育部長)

- ・第1回目の情報交換会を行いまして、まず生徒、先生、保護者へのアンケート調査を実施したいと考えております。結果等につきまして後日御報告させていただきます。

(委員長)

- ・委員の皆様にはお願いですが、社会教育目標について御意見等ございましたらお寄せいただきますようお願いいたします。

(G委員)

- ・何が達成できて何が達成できなかったかを明確にした上で、次年度何をすべきかを考えていくことが必要だと思います。もう1つは各事業について、この先は市民に委ねていくことも必要だと思います。

(H委員)

- ・自分も文化財の講座については敷居が高いと感じており、若い方たちが関心を持っていただける施策があればと感じました。また、間近にオリンピック選手を見られるという環境ができ、子供たちがよりスポーツに親しんでいけると思います。

(I委員)

- ・美術館の事業について、若い方々がなかなか来ないという話でしたが、荻須作品ばかりではなく、現代作品等若い方向けの展示会も企画していけばと思います。

3 その他

特になし

(教育部長)

- ・本日は慎重審議ありがとうございました。貴重な意見をたくさんいただきました。社会教育目標につきましては、この後の定例教育委員会や予算査定の中で若干変更することがあるかもしれませんが、委員の皆様からいただいた意見を基に来年度の社会教育事業に取り組んでまいります。また、お気づきの点がございましたら気軽にお声掛けください。

〈午前 11 時 35 分閉会〉